

※使用にあたっては、各携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。

自然災害に対応するためには、自分の命は自分で守る「自助」、町内会やご近所の皆さんが協力して地域を守る「共助」、行政による災害に強いまちづくり「公助」の連携が必要不可欠です。

災害から大切な命を守るためには、日頃より地域の危険箇所を知り、災害時の連絡方法や避難方法、防災用品などについて家庭や地域で話し合い、防災意識を高めて災害に備えましょう。

目次 Contents

災害への備え

○はじめに	1
○気象庁が発表する情報について	2
○マイタイムライン	3
○非常時持出品の準備&チェック	4

洪水・土砂

○風水害対策について	5
○土砂災害の種類	6

雪害・地震

○暴風雪対策	7
○竜巻や雷に備える	8
○地震対策 地震発生！そんなときどうする	9・10
○揺れやすさマップ	11
○停電対策	12

ハザードマップ

○美唄市ハザードマップ	
全体図	13・14
①母町地区	15・16
②北美唄・茶志内・中村・日東地区	17・18
③南美唄・上美唄・豊葦地区	19・20
④東明・落合・盤の沢・我路地区	21・22
⑤西美唄地区	23
⑥光珠内・峰延・豊葦地区	24

避難所一覧

○避難所一覧	25・26
○わが家の防災・緊急情報メモ	裏表紙

あなたがとるべき避難行動は？

〈必ず取組みましょう〉

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、美唄市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

※浸水の危険があっても

- ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
- ②浸水する深さよりも高いところにいる。
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

はい

災害の危険があるので、原則として自宅の外に避難が必要です。

例外

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）。

警戒レベル3が出たら、美唄市が指定している**指定避難所・地区別避難所**に避難しましょう。

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）。

警戒レベル4が出たら、美唄市が指定している**指定避難所・地区別避難所**に避難しましょう。

気象庁は、大雨や暴風などによって発生する災害の防止・軽減のため、
気象特別警報・警報・注意報や気象情報などの防災気象情報を発表しています。

気象警報・注意報の種類

特別警報	大雨（土砂災害、浸水害）、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
警 報	大雨（土砂災害、浸水害）、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
注 意 報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着水、着雪
早期注意情報（警報級の可能性）	大雨、暴風（暴風雪）、大雪、波浪

特別警報をご存知ですか？ 特別警報の発表基準

現象の種類	基 準	
大 雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴 風	数十年に一度の強度の台風や 同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高 潮		高潮になると予想される場合
波 浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大 雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の「数十年に一度」の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

特別警報が 発表されたら

- ・尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

詳しくは気象庁ウェブサイトをご覧ください

気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/warning.html>

特別警報 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/>



行政機関から提供される防災情報について確認しましょう

☐発令される避難情報等、国や北海道から提供される防災気象情報には、以下のものがあります。※1

高	警戒レベル	避難情報	防災気象情報	避難行動
危険度	警戒レベル5 命を守るための 最善の行動をとる	災害発生情報※2	大雨特別警報 氾濫発生情報 等	すでに災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。
	警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	避難勧告※3 避難指示（緊急）	土砂災害 警戒情報 氾濫危険情報 等	速やかに危険な場所から避難先へ避難しまし ょう。避難場所までの移動が危険と思わ れる場合は、近くの安全な場所や、自宅内 のより安全な場所に避難しましょう。
	警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	大雨警報 氾濫警戒情報 洪水警報 等	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障が いのある方、乳幼児等）とその支援者は危 険な場所から避難しましょう。その他の人 は、避難の準備を整えましょう。
	警戒レベル2 防災ガイドブックの ハザードマップ等で 避難行動を確認		大雨注意報 氾濫注意情報 洪水注意報 等	避難に備え、防災ガイドブックのハザード マップ等により、自らの避難行動を確認し ましょう。
低	警戒レベル1		早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

※1 必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

※2 災害発生情報は、災害が発生していることを把握した場合に可能な範囲で発表するものであり、必ず発表されるものではないことに留意してください。

※3 避難指示（緊急）は、地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令されるものであり、必ず発令されるものではないことに留意してください。

■避難時の行動を示す「避難情報」については、今後、見直しされる場合があります。

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するか、書いてみよう！

災害への備え

洪水・土砂

雪害・地震

ハザードマップ

避難所一覧

備え までの おおよその 時間	行政から発信される情報 黒：気象・水象情報 青：河川管理者 赤：美唄市	「台風が発生」してから 「川の水が氾濫」するまで	自分の主な備え	備えの例
5～3日前	○台風予報 ○台風に関する都道府県の 気象情報（随時）	台風が発生	災害時の行動を書き足して下さい	○台風の今後を調べ始める ○買い物は雨や風が強くなる 前に済ませておく ○1週間分の薬を 病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされる ようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、 携帯メール等で 雨や川の様子に注意 ○避難する時に持って行く ものを準備する ○家族と連絡を取りあう
2日前	◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	台風が近づいて、 雨や風が だんだん強くなる		○住んでいる所と上流の 雨量を調べ始める ○携帯電話の充電 ○ハザードマップで避難所、 避難手段を再確認 ○川の水位を調べ始める ○通行止め情報がないか インターネットで確認
1日前	◇大雨警報・洪水警報 （上流域での大雨特別警報）			
半日前	水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達	雨が集まって、 川の水が だんだん増える		
5時間前	◇暴風警報 避難判断水位到達 氾濫警戒情報 発表 避難準備・高齢者等避難開始	激しい雨で、 川の水が どんどん増えて、 河川敷にも水が流れる		○携帯メール等で避難準備 ・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間がかかる おじいちゃん、おばあちゃんや子どもがいる家は、早 めに避難する ○避難しやすい服装に着替える
3時間前	氾濫危険水位到達 氾濫危険情報 発表 緊急速報メール 河川氾濫のおそれがある情報 避難勧告 避難指示(緊急)	川の水がいっぱい あふれそう！		○携帯メール等で避難勧告、 避難指示(緊急)を受信 ○安全な所へ移動を始める
0時間	氾濫が発生 氾濫発生情報 緊急速報メール 氾濫が発生した情報	川の水が氾濫		

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しております。

川に関する情報

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、川の防災情報ホームページにアクセスすると、水位観測所のリアルタイム情報、河川の洪水予報を確認できます。

<https://www.river.go.jp/>

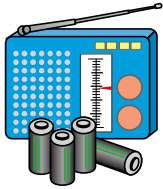


いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



- ☐ ラジオ
- ☐ 電池(多めに用意)

救急医療品



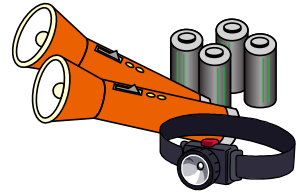
- ☐ 傷薬
- ☐ 絆創膏
- ☐ 風邪薬
- ☐ 包帯
- ☐ 鎮痛剤
- ☐ 胃腸薬

貴重品



- ☐ 現金
- ☐ 預金通帳
- ☐ 印鑑
- ☐ 免許証
- ☐ 健康保険証
- ☐ 権利証書
- ☐ マイナンバーカード

懐中電灯



- ☐ 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- ☐ 電池(多めに用意)

感染症対策



- ☐ マスク
- ☐ 手指消毒用アルコール
- ☐ 石けん・ハンドソープ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 体温計

子どもがいる家庭



- ☐ 子ども用紙オムツ
- ☐ ミルク
- ☐ お尻ふき
- ☐ 哺乳瓶
- ☐ 携帯用お尻洗浄機
- ☐ 離乳食
- ☐ ネックライト
- ☐ スプーン・フォーク
- ☐ 抱っこひも
- ☐ 子供の靴

女性の備え



- ☐ 生理用品
- ☐ おりものシート
- ☐ サニタリーショーツ
- ☐ 中身の见えないごみ袋
- ☐ 防犯ブザー/ホイッスル

高齢者がいる家庭



- ☐ 大人用紙パンツ
- ☐ 入れ歯
- ☐ 杖
- ☐ 入れ歯用洗浄剤
- ☐ 補聴器
- ☐ 男性用吸水パッド
- ☐ 持病の薬
- ☐ お薬手帳
- ☐ デリケートゾーンの洗浄剤

非常用食料品



火を通さなくて食べられるもの、食器など

- ☐ カンパン
- ☐ 缶詰
- ☐ 非常用食品
- ☐ ミネラルウォーター
- ☐ 缶切り
- ☐ 栓抜き
- ☐ 紙皿
- ☐ 紙コップ
- ☐ 水筒

その他

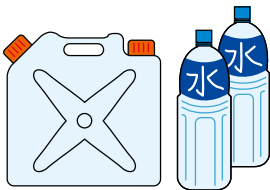


- ☐ スマートフォン・携帯電話・充電器
- ☐ 衣類(下着・上着など)
- ☐ ヘルメット
- ☐ ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- ☐ 防災ガイドブック(本書)
- ☐ タオル
- ☐ 雨具
- ☐ ライター
- ☐ 防寒具(時季による)

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水



- ☐ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水したポリタンクなど

非常用食料品



- ☐ お米(アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料
- ☐ ポータブルストーブ

その他



- ☐ 携帯電話充電器
- ☐ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など
- ☐ ビニール袋
- ☐ 使い捨てカイロ